様式4

令和元年12月9日

令和元年度　学校関係者評価及び改善策

（中間・最終）

明徳中学校区　校番　22　学校名　明徳中学校

評価項目	※評価	理由・意見
目標，指標の設定の適切さ	A	設定した内容は良いと思うが，生徒には個人差があるので，できるだけ生徒会や生徒と話し合って決めてもよいと思う。
目標達成のための方策の適切さ	B	学校内だけでなく地域へ生徒を出し，郷土で育てる観点を大切にすれば，共感的人間関係がさらに育成されると思う。 論述ツールは，これからの学力や今大学入試で話題になっている記述式回答に関係するのであれば，進んで取り組むべきと思う。
自己評価の結果と分析の適切さ	B	結果検証はアンケートが有効であるが，この方法は全体傾向の把握である。生徒個々の様子が分かればなお良いと思う。 「人が困っているときは，進んで助けていますか」の結果は，生徒の「はにかむ心」が影響しているのではないか。
今後の改善策（案）の適切さ	A	改善策は，今取り組んでいることをさらに充実させることだと思う。 地域三世代交流などのボランティア活動に参加すれば，「はにかむ心」が少しでもなくなるのではないか。 中距離のグラウンド周回に取り組めば，持久力が向上するのではないか。
その他		教師の「働き方改革」や「業務改善」はマスコミによく取り上げられている。いろいろ努力していることは良いと思う。世の中が変化していく兆しだと思う。今何が大切で何が必要かを見極める「選択と集中」が大切である。 若い人をじっくり育てる職場づくりが大切である。 明徳小学校の学校関係者評価委員会では，少しの時間であるが，授業参観し，その後，質疑応答をしている。 現状に満足することなく，生徒の力を伸ばしてください。

※　評価は，A（とても適切），B（概ね適切），C（あまり適切でない），D（まったく適切でない），N（分からない）

学校関係者評価を受けての今後の改善策	○　論述ツールを活用した授業づくりを継続・充実させ，生徒の思考力・判断力・表現力をさらに向上させる。 ○　学校関係者評価委員会の在り方として，最初に授業参観していただくこと，また，可能な範囲で生徒個々の様子を紹介すること，を検討する。 ○　働き方改革として，「選択と集中」の視点で，行事の精選を検討する。